

令和6(2024)年度日本歴史研究コース授業計画

授業名	歴史情報科学		
担当教員	資料研究系・鈴木卓治		
授業概要	「日本歴史学の研究・展示に資するデジタル技術」：日本歴史学の研究・展示・教育普及活動におけるデジタル技術適用の可能性と限界について、国立歴史民俗博物館における実践例を中心に論じる。受講者の希望により実際のコンテンツ作りを体験する機会を設ける。		
教育目標・目的	<p>日本歴史学においてデジタル技術をどのように受容し、研究・展示・教育普及の諸活動に取り入れていけばよいかを、実践例に即して学び会得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. デジタル技術に関する基礎的な知識を身につける。</li> <li>2. 歴史研究におけるデジタル技術の応用事例について学ぶ。</li> <li>3. 博物館の教育普及活動におけるデジタル技術の活用事例について学ぶ。</li> <li>4. 歴史展示におけるデジタル展示の実践例について学ぶ。</li> </ol>		
成績評価	<p>レポートによる評価を想定しているが、受講者との合意の上で、歴史学の研究・展示・教育普及に資するデジタルコンテンツの制作による評価も選択可とする。評価の基準は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. デジタル技術に何ができて何が出来ないかを論理的体系的に理解しているか（自然科学的理解・人文科学的理解の如何を問わず）。</li> <li>2. コンテンツ制作を選択した場合は、その制作物が、設定した目標（研究・展示・教育普及に資する）を正しく反映したものとなっているか。</li> </ol>		
授業計画	1. 序論：「博物館型研究統合」とデジタル技術	9. 教育普及における事例(2)：動画サイトの利用	
	2. デジタル技術の基礎(1)：テキストデータ	10. 教育普及における事例(3)：SNS の利用	
	3. デジタル技術の基礎(2)：画像データ・3D データ	11. 歴史展示における事例(1)：歴博の総合展示とデジタル技術	
	4. 歴史研究における事例(1)：データベース	12. 歴史展示における事例(2)：音を展示するコンテンツ	
	5. 歴史研究における事例(2)：地理情報・時空間情報	13. 歴史展示における事例(3)：スマートフォンの活用	
	6. 歴史研究における事例(3)：超高精細画像の利用	14. 歴史展示における事例(4)：コロナ禍とデジタル技術	
	7. 歴史研究における事例(4)：データの計量的分析	15. 総括：日本歴史学とデジタル技術	
	8. 教育普及における事例(1)：WWW サイトの構築と利用		
実施場所	国立歴史民俗博物館（教室）	使用言語	日本語
前期・後期の別	後期	対象年次	3, 4, 5
		単位数	2単位
教科書・参考図書	<p>必須ではないが授業の理解を助ける参考図書として、以下を挙げる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 後藤, 田中, 師『情報歴史学』金壽堂出版, 2009</li> <li>2. 国立歴史民俗博物館（編）『歴史研究と〈総合資料学〉』吉川弘文館, 2018</li> <li>3. 国立歴史民俗博物館（編）『デジタルで楽しむ歴史資料（展示図録）』歴史民俗博物館振興会, 2017</li> <li>4. 後藤, 橋本（編）『歴史情報学の教科書』文学図書, 2019</li> </ol>		
備考	<p>少なからず情報技術に関する内容を含むので、パソコン上で Word, Excel, PowerPoint が使える, スマートフォンを支障なく使える, Google 等の情報検索を普通に利用している, 程度の情報リテラシーがあるとよい。</p>		